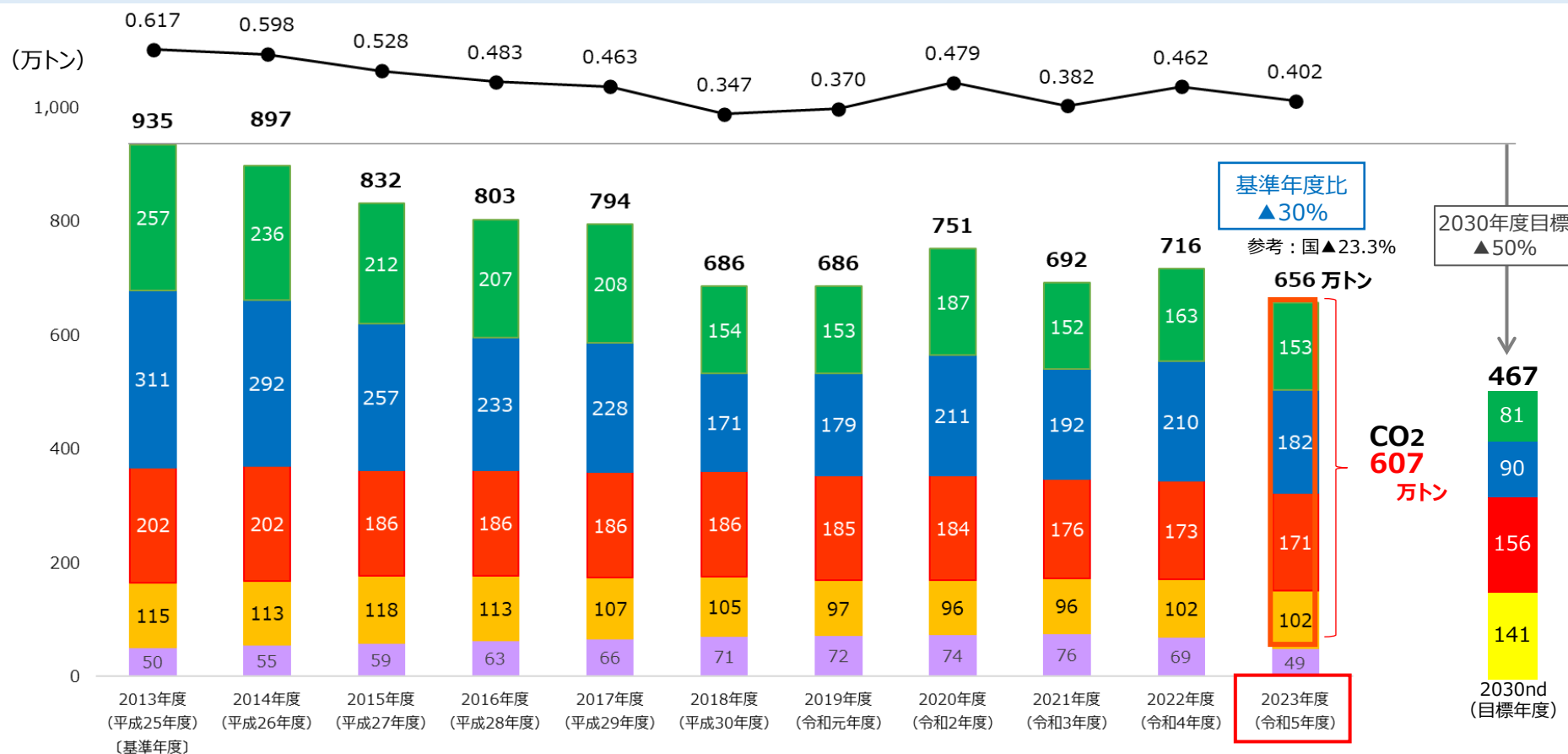


3. 温室効果ガス排出量の推移

(1) 市内の温室効果ガス排出量

- ◆2023年度の温室効果ガス排出量は656万トン、過去最高、かつ国の23%を上回る30%削減（2013年度比）を達成
- ◆2013年度から2023年度までの10年間で30%削減、50%削減目標に向け、2030年度までの8年間で残り20%の削減が必要



■ 家庭部門 ■ 業務部門 ■ 自動車部門 ■ CO2その他部門 ■ CO2以外のガス ● 電気のCO2排出係数 (kg-CO2/kWh)

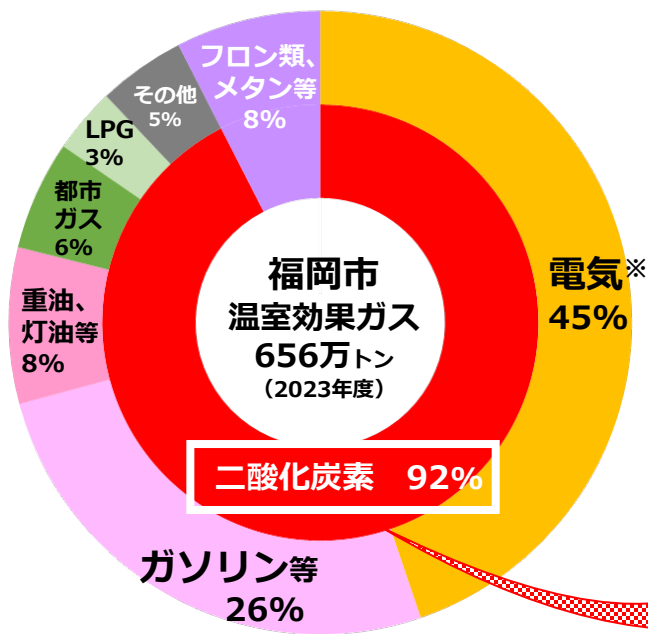
- ※ 電気の二酸化炭素排出係数は、環境省・経済産業省公表「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)」の九州電力(株)の値
- ※ 四捨五入の関係のため、排出量の内訳と総量と一致しない場合がある。
- ※ 二酸化炭素その他部門：産業部門（農林水産業、建設鉱業、製造業）、運輸部門（鉄道、船舶）、エネルギー転換部門（熱供給事業）、廃棄物部門

3. 温室効果ガス排出量の推移

(2) 2023年度の温室効果ガス排出量の内訳

- ◆ 温室効果ガス排出量の約 5 割が電気由来、次に自動車燃料由来が多い。
- ◆ 部門別では、家庭、業務、自動車部門で、二酸化炭素排出量の83%を占める。

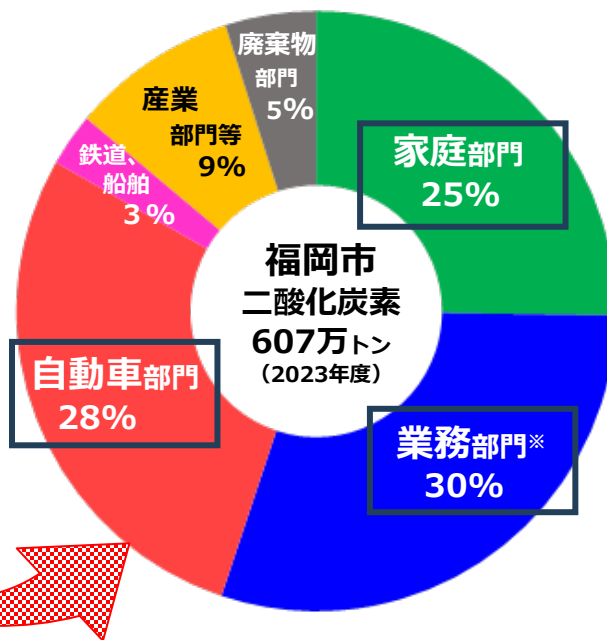
温室効果ガス総排出量（推計） 内訳
（エネルギー種別）



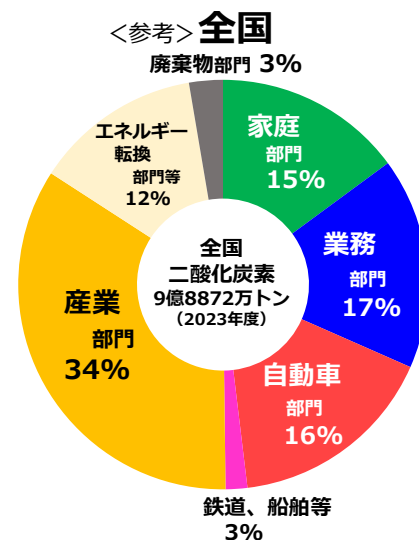
※国のマニュアルに基づき、電気は電気事業者による発電に伴い排出された二酸化炭素が分配されており、需要側の排出として算定している

※ 四捨五入の関係のため、割合の合計が100%を超える

二酸化炭素総排出量（推計） 内訳
（部門）



※業務部門：商業、サービス、事業所 等



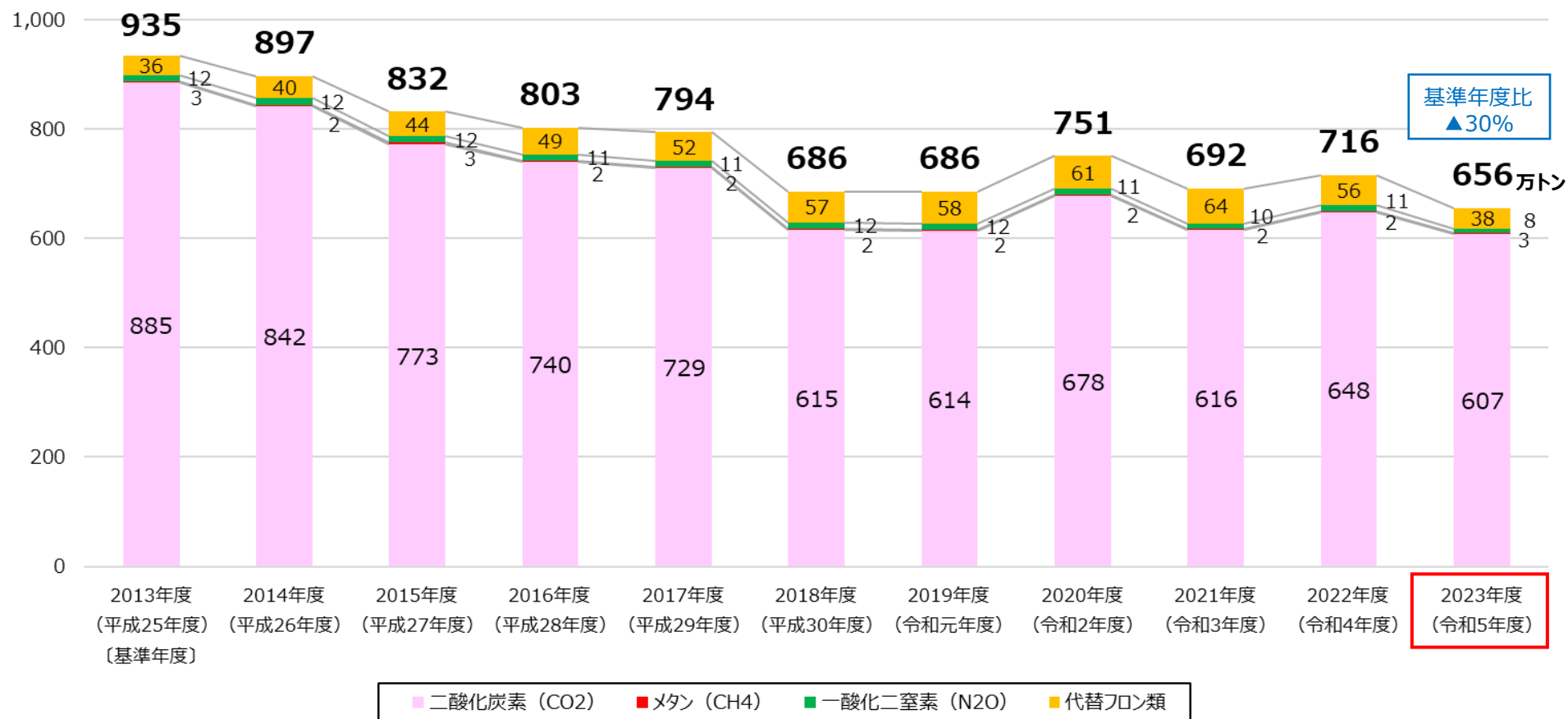
3. 温室効果ガス排出量の推移

(3) 市内の温室効果ガス排出量（ガス別）

◆2023年度の温室効果ガス排出量のうち、約93%を二酸化炭素、約7%を代替フロン等が占める。

◆代替フロン類の排出量は昨年度に引き続き減少（2022年度56万トン⇒2023年度38万トン（32%減少））

(万トン)



※ 四捨五入の関係のため、排出量の内訳と総量が一致しない場合がある。